

## 令和8年 第3回文教厚生常任委員会会議録

令和8年3月12日 議員控室

### ○事 件

所管課報告事項

- (1) 国民健康保険税条例の改正について（住民生活課）
- (2) アイヌ政策推進交付金事業による多機能型交流施設の整備について（住民生活課）

### ○出席委員（8名）

委員長	横 田 喜世志 君	副委員長	関 口 正 博 君
	赤 井 睦 美 君		小 西 雄 一 君
	斎 藤 實 君		寺 田 広 樹 君
	倉 地 清 子 君		黒 島 竹 満 君

### ○欠席委員（0名）

### ○出席委員外議員（5名）

議長	大久保 建 一 君	副議長	宮 本 雅 晴 君
	水 野 博 美 君		安 藤 辰 行 君
	牧 野 仁 君		

### ○出席説明員（4名）

住民生活課長	相 木 英 典 君	住民生活課長補佐	阿 部 任 敏 君
住民生活課主幹	清 水 満 里 君	児童係長	藤 原 のぞみ 君

### ○出席事務局職員

事務局次長	藤 原 悟 史 君	議事係長	千 代 貴 大 君
-------	-----------	------	-----------

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（横田喜世志君） では、第3回文教厚生常任委員会を始めたいと思います。委員長挨拶とありますが、割愛しまして事項から行いたいと思います。

◎ 所管課報告事項

【住民生活課職員入室】

○委員長（横田喜世志君） 所管課報告事項1つ目、国民健康保険税条例の改正についてを住民生活課、お願いいたします。

○住民生活課長（相木英典君） 委員長、課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○住民生活課長（相木英典君） それでは、国民健康保険税条例の改正についてご説明いたします。資料の1ページになります。

令和8年度、政府の税制改正により資料記載のとおり、国民健康保険税の賦課限度額および低所得者に対する経営安定所得が見直しとなります。資料中段の制度の内容をご覧ください。

左側の四角の中、現行の基礎課税額 66 万円から右側の四角の中 67 万円に改正し、全体の賦課限度額を左側の 109 万円から右側の 110 万円に改正しようとするものであります。

また、右側の四角の中の※印の部分ですが、加えて、令和8年度から始まる子ども子育て支援交付金に係る課税で限度額を新たに設定するものであります。

資料の下段、経営安定所得では、軽減の対象となる世帯の軽減所得判定において、被保険者数の数に乗すべき金額が5割軽減では、30万5千円から31万円に。2割軽減では56万円から57万円に引き上げられることとなり、軽減の範囲を拡大いたします。

資料2ページをお願いします。

先ほど申し上げました、令和8年度から始まる子ども子育て支援金ですが、資料の下段に記載のとおり、北海道から定員が示されております。所得割0.29%、均等割1000円、18歳以上均等割100円、平等割1000円として、税率を設定し、条例に追加いたします。

子ども子育て支援交付金は、1世帯当たり月額約300円で、全体の金額は資料に記載のとおり、年間で1,170万円ほどを見込んでおります。

この子ども子育て支援納付金は、児童手当の拡充や妊婦のための支援給付などの子育て支援の財源に充てられます。

また、このたびの条例改正の施行期日は、令和8年4月1日とする予定であります。この条例改正の基となる地方税法の改正が3月末の成立見込みであるため、法律の成立後に条例改正を行います。このたびの議会に上程することができませんでしたので、地方自治法第179条第1項の規定による専決処分により、国民健康保険税条例を改正し、次回開催の議会に報告する予定でありますので、よろしくごお願いいたします。以上であります。

○委員長（横田喜世志君） 報告が終わりました。質疑のある方。

○委員（斎藤 實君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） 質疑じゃないんですけど、昨日せっかく下げたって言ったのに、上げる相談でございます。

国の考え方、また予算決まってないんで専決処分、それは了解はします。

2 ページの下の段の主な応能割・応益割あるんですけど、これは今、八雲町はどういう所所得割は8.54 だったかな。

○住民生活課長（相木英典君） 所得割はですね、9.1 ですね。

○委員（斎藤 實君） だよな。

○住民生活課長（相木英典君） 委員長、課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○住民生活課長（相木英典君） 所得割は9.1 で、北海道の標準税率を北海道から来た通知なんですけれども、北海道からの標準税率を記載されているものであり、八雲町はこの標準税率とは違う税率を設定しております。

あくまで、これは子ども子育て支援金納付金の税率をわかりやすく皆様にお知らせするためにこの通知をさせていただきました。

○委員（斎藤 實君） 委員長。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） やっぱり下げるべきだったんだよな。国民保険税の会計は非常に。

ただ、これあれですか。昨日も課長から説明あったように、道の関係でこれから変わっていきますよね。

○住民生活課長（相木英典君） はい。

○委員（斎藤 實君） それで、やっぱり八雲町としては下がる可能性はあるんですか。

○住民生活課長（相木英典君） 委員長、課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○住民生活課長（相木英典君） すいません。昨日の話で9年度に賦課方式の統一で行うということでお話しました。その中で、資産割を廃止して、その資産割でも他に振り分けるということで話をしましたけれども、全体的に見たときに上がる可能性もあれば下がる可能性もありますので、昨日横田議員から言われた、下げるべきだということを言われましたけれどもそういうことも踏まえながら適正な税率にさせていただきたいというふうに思います。

また、昨日私の答弁もちょっと悪かったんですけども、横田議員から言われたときに、何か否定するような言い方になってしまいましたけれども、結局、今税率の改正を検討しても、4月1日までには間に合わないわけです。国保税の税条例は4月1日に改正してなければその年賦課できませんので、答弁としてはやっぱり横田議員のそういう意向も踏まえながら、令和9年度、8年度にきっちり検討しまして、現代で言えば最短の9年4月1日に向けて適正な税率にしていきたいということでもあります。

○委員（斎藤 實君） 委員長。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（齋藤 實君） それはやっぱり道の今示されるものが基準になるっていう考え方になるんですね。

○住民生活課長（相木英典君） 委員長、課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○住民生活課長（相木英典君） 道からあくまで賦課方式の統一になりますと、道に所得の状況だとか、被保険者数の状況だとかっていうことを上げておりますので、道から示される状況も踏まえてどんどん把握してきますので、そういう状況を踏まえながら道から示される税率をうちのほうとしては適用するというようなかたちになります。

○委員長（横田喜世志君） 他にありますか。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） なければ。

○委員外議員（安藤辰行君） （何か言う声あり）

○委員長（横田喜世志君） 仕方ない、我慢してあげる。

○委員（齋藤 實君） だって、横田さん聞きたいというふうに聞いたから、その代わり俺昨日聞きたい部分、横田さん聞いたから。

○委員長（横田喜世志君） ということで、国民健康保険税条例の改正についての質疑を終わらせていただきます。

続きまして、2番目のアイヌ政策推進交付金事業による多機能型交流施設の整備について、住民生活課の報告をお願いします。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 住民生活課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） では続きまして、アイヌ政策推進交付金事業による多機能型交流施設の整備についてご説明いたします。

資料は3ページ目をお開きください。

はじめに、1の経緯についてですが、去年の6月開催、文教厚生常任委員会の中で本施設の整備について、八雲アイヌ協会からの早期建設要望などを受けまして、実施設計を令和7年度に行うこととして国へ交付金の追加申請を行うことをご報告させていただきました。

その後、交付金の追加交付にあたりまして、国と協議を続けました結果、8月に交付金事業としての内諾を得られたこと、同じく8月開催の常任委員会の中で報告をし、実施設計に関連する経費の補正予算案を9月開催の第3回定例会へ上程し、可決をしていただきました。

定例会の終了後は、関連する町内会議の説明会の実施、また実施設計の入札などを行いまして、実施設計を進めてきたところでありまして、2月末をもちまして実施設計が完了しましたことをご報告いたします。

あわせて、令和8年度の計画としましては建設予定地にあります、既設の遊具の移設、施設の建設、また備品の購入を予定しておりますため、今後につきまして説明をさせていただきます。

続きまして、2の整備予定地ですが、別紙ということで資料の5ページ目をお開きください。

こちらは、去年の常任委員会でも提示させていただいた資料で繰り返しになりますけども、予定地は内浦にあります、八雲墓地に隣接する内浦1区会館の向かい側、突っ込み道路の多くの平野公園の敷地内に整備および整備を予定しております。

続きまして、資料の3ページ目に戻っていただきまして、3の整備する施設についてですが、多機能型交流施設として整備するもので、名称は内浦町1区町内会、また八雲アイヌ協会に相談しました結果、遊楽部生活館とすることとして構造は鉄骨造の平屋建て、面積は大体300平方メートルで整備を予定しております。

この施設は、アイヌ民族の伝統儀式を開催できる場など次の世代へアイヌ文化の継承を図ることを目的として整備しようとするものです。施設の中には、アイヌ民族の伝統儀式である、カムイノミ・イチャルパを開催できるように床下収納型の囲炉裏などを設置することとしております。

あわせて、この施設は老朽化が進んでいる内浦町1区会館に代わる地域会館としても整備をすることとしておりまして、さらには将来的には近隣の地域会館との統合も計画をしているところです。

また、去年の常任委員会の中でこの施設整備に係るご報告を申し上げた際に、避難施設としての機能もあったほうが良いのではないかとということでお話をいただいたことと、また町内会、アイヌ協会からも同じく要望がありましたことから、この施設は津波被害のおそれのない場合の災害があった際の避難施設としても活用する予定としておりますため、施設内に発電機を常備しておいて、停電のときでも発電機を動かすことで施設内をある程度稼働できるようにして、集会室やトイレ、また充電用のコンセントも使えるようにするとともに、夏や冬でもできるだけ快適に過ごせるように集会室には冷暖房設備も設置する予定としております。

資料の6ページ、最後のページをお開きください。こちらは、実施設計に合わせて作りました外観のイメージ図となりますけども、去年の12月に作成したものでありますが、ここから少々修正は入っておりますけども、概ねこのようなイメージで進めていこうとしているところです。

資料の3ページ目にお戻りください。

次に4、今後のスケジュールですが、既に国のほうに対して令和8年度の交付金に係る事前審査の書類を提出しておりまして、現在審査をしてもらっているところです。

このままいけば、4月上旬には交付金の交付決定が予定されているところでして、交付金採択の決定がされた暁には、年度内に建設を終わらせるために速やかに工事に着手する必要がありますことから、4月中旬には臨時会の開会をお願いして、その中で関連する事業費の補正予算案を上程させていただき、ご審議を賜る予定としておりますので、よろしく願います。

また、補正予算案が可決された暁には、速やかに建設工事に係る入札を行いまして、契約予定業者を決めた後6月の第2回定例会では、工事請負契約のための議決が必要となる案件でありますことから、議案を上程させていただく予定としております。

議決が可決されました暁には、速やかに工事に着手して、年度内に完成させるというように予定としております。

次に資料の4ページ目、5の令和8年度概算事業費についてですが、内訳欄に記載のとおり、建築完了検査に係る手数料、工事監理業務委託料、遊具移設工事費、施設建設工事費、備品等購入費として記載の額を見込んでいて、事業費合計は2億6,857万4千円を予定しております。

また、遊具の移設工事、備品等購入費の一部は補助対象外となりまして、その下の※印に記載しておりますけども、遊具の移設は全て補助の対象外となることで施設建設に着手する前に、今あります既設の遊具を撤去しなければいけないことから交付金事業として採択された場合には、速やかに撤去に移れますように当初予算として計上をさせていただいております。

その他の事業費につきましては、先ほど説明申し上げましたけども、これから補正予算案として上程させていただく予定としておりますので、よろしく願いいたします。

また、備品購入費の補助対象外経費としましては、先ほど説明申し上げました、非常用発電機の購入に係る経費が補助対象外経費となります。

次に6、国庫補助率ですが本交付金事業は8割補助となっております、最後の7、交付金見込み額については記載のとおり、補助対象経費を2億5,190万5千円として補助率を掛けて、2億152万4千円を交付金額として見込んでいるところでございます。

説明は以上となります。よろしく願いいたします。

○委員長（横田喜世志君） 説明が終わりました。質疑のある方。

○委員（寺田広樹君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 寺田委員。

○委員（寺田広樹君） 先ほど、この施設には津波等による避難所にも考えているとおっしゃいましたけども。

○議長（大久保建一君） 津波以外の。

○委員（寺田広樹君） 今、八雲町の防災マップを見たら、土砂洪水の場合も内浦1区会館周辺には指定避難所にはなっていないんですけども、それでも必要なんでしょうか。再検討必要なのではないかと考えてるんですけど、どうでしょうか。

○住民生活課長（相木英典君） 委員長、住民生活課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○住民生活課長（相木英典君） すいません。私今ハザードマップ見てないんでわかりませんが、土砂災害の区域にも入ってるんですけど。

○委員（寺田広樹君） 入ってます。

○住民生活課長（相木英典君） 入っていると。

ただ、避難の災害っていうのは、土砂災害、津波以外の災害もある。

○委員（寺田広樹君） 洪水ね。

○住民生活課長（相木英典君） あるものですから、それ以外の災害が発生したときには、当然津波も浸水区域であって、土砂災害の区域でもありますけれども、それ以外の災害ときの避難場所に指定されるということになるかなと。

○委員（寺田広樹君） ゲリラ豪雨だとかってことですかね。

○住民生活課長（相木英典君） ゲリラ豪雨かどうかちょっとわかりませんが。

- 委員（寺田広樹君） 大規模停電だとかっていうことですかね。
- 住民生活課長（相木英典君） そうですね、そういう部分であって発電機が設置されておりますので、大規模停電だとか、あとは災害では。
- 委員（寺田広樹君） あと、何かあります。
- 住民生活課長（相木英典君） 単純に地震が発生したとき、そういう部分であるとかの避難場所に設定されるということはあるかな。
- いずれにしても、これは危機対策課とは十分協議しながら適切な配置といえますか、そういうふうにしてまいりたいというふうに思ってます。
- 委員（寺田広樹君） はい。
- 委員長（横田喜世志君） 寺田委員。
- 委員（寺田広樹君） 防災のことに関心がありまして、ちょっと気になったものですから、質問させていただいたんですが、資料の最後のページの外観パースなんですけど、ちょっとアイヌの特化した施設という観点で言えば、正直内部パーツも欲しかったなっていうのもあるんですが、まだできてないんでしょうか。そういう間取り、デザイン等はできてないんでしょうか。
- 住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。
- 委員長（横田喜世志君） 課長補佐。
- 住民生活課長補佐（阿部任敏君） まだ現状、外観のイメージ図しか作っていないところでして、内部のイメージ図というのは作っておりません。それは、これから作成するかたちになるかと思っておりますので、よろしくをお願いします。
- 委員（寺田広樹君） はい。
- 委員長（横田喜世志君） 寺田委員。
- 委員（寺田広樹君） 内部でアイヌ独特の設備ありますよね。囲炉裏だとか、そういうのは町で今指定して設計事務所に指定しているんでしょうか。そういう何かアイヌに特化したものを何か今時点で設備等わかってるのであれば、教えていただきたいんですが。このままではちょっと魅力が伝わらないんで、気になるもので。
- 住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。
- 委員長（横田喜世志君） 課長補佐。
- 住民生活課長補佐（阿部任敏君） まだ外観しかできてないものですから、そこをイメージしづらかったのかなと思ひまして、大変申し訳ございません。

まず、先ほど委員おっしゃられたように施設の集会所の中に囲炉裏を設置いたします。この囲炉裏のかたちにつきましては、八雲アイヌ協会のほうに詳細を確認いたしまして、この寸法このサイズで作ってくださいという要望を受けまして、そのサイズ通りの設計業者さんのほうに設計をしていただいているところです。

囲炉裏自体は、先ほど説明申し上げましたけども、床下に収納できるようなかたちで、儀式をやっていないときは蓋をして通常の床になってる。儀式を行うときだけその蓋をパカッと取り外して、そこで儀式を行っていただくというかたちになります。

あと、囲炉裏の上の天井の部分が同じく儀式で使います、大体1 m、2 mくらいの大きさの木で作りました祭具があります。そこを普段は天井の上のほうにぶら下げてお

て、儀式を使うときになったら電動式の昇降機を付けまして、祭具を下ろして儀式の際に使うということで考えております。よろしくお願ひします。

○委員（寺田広樹君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 寺田委員。

○委員（寺田広樹君） 恥ずかしながら昨年、ウポポイできて5年6年経つと思うんですけど、初めてウポポイ行ってきたんですよ。当然儀式も見てきましたし、内観も見てきました。こうなったらいいなどは思ってるんですけども、そういう方向になるとは思いますが、もう一点。

資料4 ページ目の備品等購入費の備品なんですけど、パソコンいろいろ備品あるんですけど、これもまたアイヌに特化した何か備品揃えるものがあれば教えていただきたいんですけど。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） アイヌ文化に特化した備品として整備いたしますのは、先ほどご説明申し上げました、囲炉裏の上に付きます祭具と、儀式の中で食器っていうんですかね、お皿ですとかコップですとか、囲炉裏の周りに莫菴を敷いて、その上で儀式を行うんですけども、そういった部分を新たに整備しようということでこの備品購入費の中に含めております。

○委員（寺田広樹君） ありがとうございます。

○委員（赤井睦美君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 赤井委員。

○委員（赤井睦美君） アイヌ民族も自分もどんどん高齢化していくので、これはバリアフリーになってるんでしょうか、全て。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） バリアフリーとして整備しておりまして、また6ページ目の外観イメージ図の上のほうの外観イメージ図というところで、右側に正面玄関がありまして、左のほうが壁で隠れてるんですけども、ここがスロープ状になってます。

一番左前に車を停めまして、ここを障害者用の車を停めれる駐車場として整備する予定です。

なので、足腰悪い方でも車を降りて、雨風が当たることなくスロープを使って施設のほうに入っていただくような形で設計をしてございます。

○委員（赤井睦美君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 赤井委員。

○委員（赤井睦美君） トイレは何個くらいあるんですか。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） トイレは男子用が1つ、女子用が1つ。あと、多目的といたしますか、両方問わないトイレが1つということで、全部で3つ整備する予定であります。

○委員（赤井睦美君） ありがとうございます。

○委員長（横田喜世志君） では、他に。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） 遊具移設工事費についてなんですけど、先ほど予算補助金の関係で通ったら撤去を始めるっていうことを伺いました。

前ももしかしたら聞いてるかもしれないんですけど、遊具移設工事費だから、撤去だけじゃなくてどこかに移動するんですよね。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） すいません。撤去のことばかりの話をして、申し訳ございませんでした。

今回移設ということで考えておりますので、基本的には今あるものを違う場所に移すというかたちになります。

ただ、遊具いくつかあるんですけども、全てを再利用できるわけではございませんので、再利用できるものはもちろん再利用いたしまいたしますけれども、一部新しい遊具もまた公園の敷地内の近くなんですけども、その施設を利用するにあたって支障にならない場所のほうに新しく設置をする予定です。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） 利用できるものを別な場所に移動して、いらなくなったものは撤去して処分ということなんですわね。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） はい。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 他に。

○委員（斎藤 實君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） 外観でいい建物だなと思うんですけども、ただ一見、見た中でこれがアイヌの伝統的な建物なのかなっていう捉え方からいうと、ちょっと僕そのところイメージとして捉えられないんだけど、何とかもうちょっと見た瞬間、やっぱり北海道はアイヌ文化ずっと続いているんだなというような外観できないものでしょうかね。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 当初設計の中では、その設計業者さんも気を利かせていただいてというか、もうちょっとアイヌ文化を意識した外観というのでご提案いただいていたんですけども、八雲アイヌ協会のほうの役員さんのほうにその図面をこういうかた

ちでっていうことで相談に行った際に、ここの施設は内浦1区会館に代わる地域会館としても使う予定があるものですから、あまりアイヌに寄ったといいますか、外観にするのはちょっと申し訳ないんじゃないかということで、地域会館としても使いますので、あまりその部分の目立たなくてもいいんじゃないかというご配慮いただきまして、このようなかたちで設計ということになってございます。

○委員（斎藤 實君） だけどな。そういうものを地域の中で、地域の人たちの会議やったり、イベントやったり、別に普通のような気がするんだけどな。認識違うかな。

○議長（大久保健一君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 大久保議長。

○議長（大久保健一君） 斎藤議員の意見に賛成で、これだけアイヌ関連のお金が入ってるんで、そんな、大掛かりじゃなくてもいいから、何かアイヌ紋様がちょっと外から入るだとか、そういった配慮があってもいいんじゃないかなと思うんで、地域住民も合わせながら検討していただければいいと思いますので。その辺をお願いしたいのと、あともう一点。

前も聞いてたかどうかわかんないですけど、昨日行き止まりの住宅街の奥に作るっていうことなので、ここの住民に対しての説明会とかこういうものが建ちますよっていうことが、まず話されたかどうかっていうこと。

あと、ここは今までどん詰まりだったところに公共物ができるってことで車の往来も増えるっていうことになるので、そこら辺の配慮っていうのかな、交通事故なんかのリスクも高まるっていうことで、そういうこともちゃんと説明されてるかどうかちょっと教えてください。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） ここの地区は、まず町内会としては内浦1区の町内会になりまして、まず町内会の役員さん方に対しては、こういったかたちで整備を予定してまずということで説明会を開催いたしました。

○議長（大久保健一君） 住所は豊河町でないの。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 住所は豊河町なんですけど、町内会は内浦1区町内会が入っているかたちになります。

それで、最後に町内会長さんに、ここの住宅の方々に一軒一軒説明に行くことも考えてるんですけども、私達として、そこまで必要ですかね、みたいなかたちでちょっとご相談させていただいたんですけども、いやそこまでは行かなくてもいいんじゃないかということでご回答いただきました。

あと、聞かれた際には、町内会長さんで報告を受けた経緯で整備することになったとかそういうご説明もできますし、もし何かあったら町のほうにお問い合わせいただければ、こういうかたちでということでご説明させていただくということになりまして、ここの方々一軒一軒に対しては、具体的に説明というかたちでは伺ってはおりません。

○議長（大久保健一君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 大久保委員。

○議長（大久保建一君） 今やり取りの中で気付いたんですけど、多分この町内にお住まいの方は、この会館を利用しないってことですよ。豊河町会館を利用するってことになる。豊河町に会館ありますよね。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 住所は豊河町になるんですけども、ただ町内会としては内浦1区町内会に加盟されておりますので、内浦一区町内会での行事とか、そういった部分に参加される際には今整備する新しい会館でご参加いただくかたちになるのかなと思います。

○議長（大久保建一君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 大久保委員。

○議長（大久保建一君） わかりました。よく理解しました。

ただ、その説明については、なるべくこういう公共物作る上では、後からまた揉めたりなんだりしないための配慮が必要だと思いますので、小さいお子様のいらっしゃる家庭もあると思いますので、ちょっと事前に話しておいたほうがいいかなとは思っているので、検討してみてください。

○委員長（横田喜世志君） ほかに。

○委員（斎藤 實君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） もう一点だけ。補助率8/10って大変高い補助率になってるんですけども、あと残り5千万、6千万なんですけれども、これは財政と協議してましたか。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） この事業に係る事業費につきましては、財務課のほうにも事前に相談をさせていただいております。この交付金入ってくる以外の部分の一般財源の部分をどのようなかたちで措置するかという部分については、財務課のほうでもある程度考えはあると思うんですけども、そこについては補正予算案の上程のときまでに整理させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○委員（斎藤 實君） もう一点。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） ふるさと納税の中で、アイヌ文化の継承に補助っていうよりも、ふるさと納税指定されているようなものはないんですか。その辺わからなかったら、後で担当課とちょっと調べておいて、大いに使ったほうがいいと思うんですけど。あったらね。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） すいません。ふるさと納税のメニューの中に、アイヌ文化という部分があったかというところは正直申し訳ございません。把握しておりませんので、後で確認させていただきまして、充当できるということであれば、活用させていただきたいと思いますので、お願いいたします。

○委員長（横田喜世志君） 他に。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 関口委員。

○委員（関口正博君） 先ほど大久保議長のほうからも、この地域会館についてのお話ありましたが、今回の定例会の中においても、地域会館の取り扱いについてちょっとお話が出てました。

できることであるならば、このような機会にきつと近隣の地域会館の一つ、豊河町会館のことをいうのかなっていうふうに思うんですけども、できればこのような機会にしっかりと将来的な統合を含めたものというのは、しっかりと地域住民にまず説明していただきたいと思いますけれども、これは一つ要望です。

あともう一点。先ほど、斎藤議員はもう8/10補助というのはなかなかないものであるんですけども、今後のスケジュールも出てますが、今回鉄骨で建てることでいろいろ不測の事態が考えられるんですよ。

この8割の補助というものを3月末の完成をもってっていうことでありますので、なるべくスケジュールは出てますが、1日でも早く発注してあげる、スムーズに事務手続きのほうを終わらして工事のほうにかからせてあげるっていうことは非常に大事な今建築業者さんも人手不足であるとか、物の納入であるとかっていうふうには相当神経すり減らしていると思うんで、その辺も配慮した中でスピーディーな事務手続きをお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員（黒島竹満君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 黒島委員。

○委員（黒島竹満君） 今関口議員から出た会館の問題だけでも、確か豊河町会館と迎えにあるのが、内浦会館ね。内浦1区会館。会館あそこに2つあるんだよ。

だから、その豊河町会館っていうかな。そっちのほうの町内会とは、ちゃんと話についてるの。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 豊河町町内会さんに対しましても、去年の10月になりますけども町内会さんのほうに説明をしております。

将来的に今ある会館につきましては、すごい大事に使っていただいているところもありまして、まだまだ使える、何年も使える状態です。使える状態のときはそのままお使いいただいて、大きく直さなきゃいけないとか、そういった大きくお金をかけて直さなきゃいけないとなった場合は、そこはお金をかけないで今度新しい会館のほうを使っていたきたいと考えているんです、ということで説明をさせていただきます、そうかということで、納得というか、はしていただいたのかなというふうに思っております。

○委員（黒島竹満君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 黒島委員。

○委員（黒島竹満君） そしたら内浦1区会館のほうは、これできると解体する予定。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） すいません。解体につきましては、ちょっと直接の担当ではないので、こうですとは言いきれないんですけども、あそこの建物は立って50年近く確か建つと思いますし、かなり老朽化も進んでいるということで、なかなかの再利用は難しいのかなと思いますので、解体になるのかなというふうに考えております。

○委員長（横田喜世志君） 他に。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） 他になければ、私から少し。

建設予定地にある遊具は、この予定地の中に再移設をするのでしょうか。それとも、先ほど別な場所って言い方をしてたんですが、映ってる範囲内のどこかがわかればご説明いただきたいと思います。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 具体的な遊具の移設の場所になりますけども、5ページの写真のほうでご説明したいと思いますので、お願いいたします。

今、整備予定地って赤く囲ってるところがありまして、そのちょっと左に緑の文字で平野公園って書いてある場所わかりますでしょうか。大体ここら辺に遊具を持ってくるということで、計画をしております。

○委員長（横田喜世志君） もう一ついいですか。6ページの外観パースあるんですが、これは向きがどっちなのでしょう。玄関の方位を教えてくださいと思います。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 6ページの上段、正面玄関の向きなんですけども、これは北側になります。

従いまして、5ページの航空写真なんですけども、こちらの北を上になってますので、正面玄関が上方向に向くようなかたちになります。

内浦1区会館の前の道路からこの突っ込み道路入っていただいて、まっすぐ建設整備予定地のほうに入りまして、そしたら正面玄関が真正面にくるというようなかたちで整備を考えています。

○委員長（横田喜世志君） それと、もう一つ。先ほど寺田委員のほうから中身がどうなってるのかっていう話が出てたんですが、3ページ目に2月末をもって実施設計業務が完了しました、になってますよね。ということは、図面できてるんですよ。

それは寺田さんの答えに、何か示せないっていうような答えがあったんですけど、図面できてるんだったら、後ほどでも提示していただきたいと思います。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 設計図面はできております。平面図ですとか立面図ですとか、そういった図面はできているんですけども、先ほど、パース図というんですかね、こういうイメージ図がないかということで、先ほどご質問あったかと思うんですけども、こ

ういったかたちでのイラストといたしますか、こういったものは内部は作っていないという状況でございます。

○委員長（横田喜世志君） 寺田くんは見ればわかるんじゃない。

○委員（寺田広樹君） わかります。

○委員長（横田喜世志君） 寺田くん欲しいそうなので。

○委員（関口正博君） わかったところでどうなるんですか。

（何か言う声あり）

○委員（寺田広樹君） いや、図面まではいらないんですけど、平面図出来てるんですか。

○委員（赤井睦美君） 間取りが分かればいいでしょ。

○委員（寺田広樹君） まあ、そうです。気になるころではありますね。

そしたら、平面図で今教えてもらっていいですか。

だいたい儀式する場所は、大ホールあって、厨房、トイレ、玄関、そんなような部屋も一つぐらい、そんな規模の大きさですか、この施設って。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） 委員長、住民生活課長補佐。

○委員長（横田喜世志君） 課長補佐。

○住民生活課長補佐（阿部任敏君） ホールといたしますか、間仕切りというんですかね。可動式の間仕切りを2ヶ所につけまして、細かく分けるといたしますか、分けると3部屋でお使いしていただくかたちになりますし、儀式ですとか大きな会議をやりたいということであれば、その間仕切りを取って一つの大きなホールとして使えるようなかたちとすることあります。

○委員（寺田広樹君） わかりました。

○委員（斎藤 實君） いいね。

○委員長（横田喜世志君） そしたら、他に質問ありますか。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） なければ、アイヌ政策推進交付金事業による多機能型交流施設の整備についての報告事項を終わらせていただきます。住民生活課、お疲れ様でございました。

#### 【住民生活課職員退室】

○委員（斎藤 實君） 係長、いいね。8/10の補助金もらえるのも、八雲庁舎8/10の補助金探せないけどね。

○委員長（横田喜世志君） そして、次に報告事項についての協議でございますが、何かございますか。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） いいですか。先ほどの外観のアイヌをもうちょっとっていうのに対してとか。

○委員（斎藤 實君） 期待はしたいけれどもね。

○委員（寺田広樹君） あったほうがいいですよ、絶対。

- 委員（斎藤 實君） 住民の考え方もあるからな。
- 委員（寺田広樹君） 絶対あったほうがいいですよ。
- 委員（関口正博君） 基本的にさ、外観っていうのは入っているのか。
- 委員（寺田広樹君） まだデザインが決まってないんじゃないですか。
- 委員（関口正博君） まだ決まってないの。
- 委員（寺田広樹君） 梁むき出しにするだとか、天井。だから書けない。
- 委員（寺田広樹君） それで、壁面に藁をこう。
- 委員（寺田広樹君） 実施設計パース入ってましたっけ。
- 委員（黒島竹満君） 内観は入ってないと思う。外観は入ってるけど。
- 委員（寺田広樹君） 外観も。
- 委員（関口正博君） 会館機能もやっぱり必要になってくるから。

（何か言う声あり）

- 委員（関口正博君） でも、平米単価計算してみたけど、やっぱり（聞き取り不能）。  
坪単価でいったら 200 万近く。
- 委員（寺田広樹君） 3.3 かけて。
- 委員（赤井睦美君） 広さとしてどれぐらいなんですか。私、何㎡とか言われたってわかんない。
- 委員（倉地清子君） 確かにね。100 坪ってどれくらい。
- 委員（寺田広樹君） 100 坪って田んぼ 1 枚分ですか。
- 議長（大久保建一君） 面積書いてる。290.35 ㎡。
- 委員（赤井睦美君） それは全然わかんない。
- 委員（倉地清子君） それがわかんないんだよね。
- 議長（大久保建一君） 90.3。
- 委員（関口正博君） 96 とかそのくらい。
- 委員（寺田広樹君） だから、290、90 坪ぐらいですか。90 ちょっとです。
- 委員外議員（安藤辰行君） 田んぼ一つだ。
- 委員（赤井睦美君） 内浦会館と同じぐらいの大きさかな。
- 委員長（横田喜世志君） よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

- 委員長（横田喜世志君） じゃあ、報告事項は特になしということで、4 番、その他。
- 委員（赤井睦美君） 要望。
- 委員長（横田喜世志君） 赤井委員。
- 委員（赤井睦美君） 先ほどの総務委員会の流れでいくと、13 日が文厚になるんですか。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 次回ですね。
- 委員（赤井睦美君） うん。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 次回、4 月 16 日木曜日。
- 委員（赤井睦美君） 16 日か。それを 1 週遅らせるか、総務委員会の後にするか、ちょっと 16 日どうしても居なくて。たった 1 人の個人の用事で大変申し訳ないんですけど、すいません。

- 委員長（横田喜世志君） できれば、ずらしてほしいという。
- 委員外議員（牧野 仁君） 赤井さんのためだ。
- 委員長（横田喜世志君） いや、遅くする分は担当課はたいした影響ないかもしれないけど、早くするのは担当課が合わせなきゃなんないと。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 事務局から。
- 委員長（横田喜世志君） 係長。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 例えばですが、4月23日木曜日なんですけど同じく、いかがでしょうか。
- 委員（赤井睦美君） 都合悪い方いますか。
- 委員（斎藤 實君） 4月23日。
- 委員（赤井睦美君） どうですか。
- 委員（寺田広樹君） 10時ですね。大丈夫です。
- 委員（赤井睦美君） ありがとうございます。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） わかりました。じゃあ、4月23日。
- 委員（赤井睦美君） 大変申し訳ない。
- 委員長（横田喜世志君） では、今赤井委員のほうにより、次回開催は4月23日といたしたいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

- 委員（赤井睦美君） 大変申し訳ありません。ありがとうございます。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） すいません、事務局から2件報告がありました。
- 委員長（横田喜世志君） どうぞ。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 失礼いたしました。

事務局から、まず2件報告します。バスケットボール場の件と給食の試食の件で、それぞれ報告申し上げます。

まず、バスケット場の件で、前回の2月19日のその他の部分でテーマとして出てまして、その日に体育課にお電話申し上げたところ、すいません。一昨日の予算委員会でも出た案件でありまして、ある程度皆様ご存知かと思いますが、体育課としては高さを引き上げるなど、ちょっと対処していきたいということで、その時にお電話でご回答いただきましたので、この場でご報告申し上げます。それが、まず1件。

もう2件目が給食試食の件、すいません。これは11月頃の文厚でテーマとしてちょっと出てた案件ですね。給食センターの担当の者と調整してたんですが、ごめんなさい。3月はどうしても発注の関係などから無理でした。ごめんなさい。情報が多くなって申し訳ないですけど無理で、5月が一番良いだろうということで想定してまして、とりあえずまだちょっと早いんですが5月21日文厚などを予定すれば、そこで日程調整ということでいかがかなと思ひまして、すでに文厚以外も含めて、委員の皆様ということで全員にお声がけてぜひこの機会にと思ってるんですが、そのところいかがかと思ひまして、ご留意いただければと思うんですが。

- 委員（倉地清子君） 場所どこですか。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 場所は、ここになります。

学校は難しいということでご連絡ありまして、やっぱり給食センターとしても、ここがい  
いということで配膳担当者に来ていただいて、可能であればメニューなどの説明をしたい  
ということで出てるんですが、5月21日など、まずは第一案として先方と調整する方向で  
いかがかなと思ひまして、ご協議いただければなと思ひます。

○委員長（横田喜世志君） 今の事務局から、給食の試食ということで、5月21日文教厚  
生常任委員会開催日に合わせて行えればということなんですが、その方向で進めてよろし  
いでしょうか。

○委員長（横田喜世志君） では、そのようにお進めください。

○議会事務局庶務係長（千代貴大君） まだあくまでごめんなさい。向こうとの調整なんで  
ちょっとカチッとまだ予定は固められない部分もあるんですけど、まず第1案として調整  
してまいりたいと思ひますので、お伝えします。

それで、お伝えさせてもらったとおり、文厚と委員外議員さん14名で何とかいけるかた  
ちで調整してまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○委員（赤井睦美君） よろしくお願ひします。

○委員長（横田喜世志君） その他。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） なければ、これをもって第3回文教厚生常任委員会を終わりたい  
と思ひます。お疲れ様でした。

[ 閉会 午前11時28分 ]